

地域医療連携 ニュース

医療機関向け

昭和大学横浜市北部病院

No.2

2019年4月号
(年4回発行)

発行/地域医療連携室

〒224-8503

横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

電話：045-949-7151

- 甲状腺センター、女性骨盤底センターご紹介（中面）
- 医療機関訪問報告・病院からのお知らせ（裏面）

北部病院 ゴールデンウィーク 対応

2019年		休日名	診療状況
4月	27日	土	通常診療
	28日	日	休診
	29日	月	(※) 救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。
	30日	火	
1日	水		
5月	2日	木	(※) 救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。
	3日	金	
	4日	土	
	5日	日	
	6日	月	(※)と同じ

4月1日から北部病院に

2つのセンターが新たにオープンしました。

甲状腺センター

設立趣旨

現在、昭和大学横浜市北部病院 外科における甲状腺外科手術は、国内で5位以内、神奈川県下では1位の手術症例、経験を有し、年間300件を越える件数となりました。手術以外の内科的疾患（バセドウ病、橋本病）や経過観察を要する良性結節は、手術件数の10倍を越える需要があり、外科単科のみでは対応が困難な状況となって参りました。

そこで診療科の枠を超えて、藤が丘病院糖尿病・代謝内分泌内科、昭和大学耳鼻咽喉科と更に緊密な連携を取り、外部からも優れた人材を確保し、専門的なセンター化を図ることにより、甲状腺専門医および若手医師の育成の場として先端的な教育と研究を行うことを目標に設立いたしました。

特徴

- 国内の大学病院では初の「甲状腺センター」であり、診療科の枠を超えて専門チームが対応します。
- 個人病院レベルの専門病院では、対応困難な重症例、合併症が危惧される事例も対応可能であり、集学的治療が可能です。
- 国内で唯一、非手術治療である「甲状腺結節に対するラジオ波焼灼療法」を行っている施設です。
- 外科手術、薬物治療、インターベンション治療の全てにおいて最先端の医療水準を確立します。
- 24時間365日お断りをしません。
- メールでのConsultation, ご紹介、ご依頼をお引き受けいたし、センター医師が直接対応、調整を行います。
- 緊急・準緊急の患者さんのご紹介、ちょっとした疑問点など、即座に対応します。

体制

外科医師 5名、内科医師 1名、耳鼻咽喉科医師 1名、病理医 1名、
超音波・細胞診検査技師 1名

問い合わせ 予約・相談

専用のマグネットシートを作成しました。そこに記載されたメール・電話・FAXにより、お問い合わせください。丁寧にご対応させていただきます。

昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センターは、外科手術、内科的治療、インターベンション治療を包括的に行える我が国唯一のセンターです。患者さんにとって最善の診断と治療を提供するとともに、国内外へ最先端の情報を発信するTop-Leaderを目指します。



福成信博 センター長

女性骨盤底センター

設立趣旨

女性の生活の質（QOL）を著しく低下させる女性骨盤底障害には、骨盤臓器脱や尿（便）失禁をはじめとした様々なものがあり、“女性泌尿器科”の守備範囲となります。いずれも致命的疾患ではなく良性疾患とされますが、患者様の苦悩は非常に大きいのが特徴です。超高齢化社会となった現在、症例数は莫大と考えられていますが、女性泌尿器科を専門とする施設は全国的にもまだまだ不足しています。このような状況の中で、当女性骨盤底センターは女性泌尿器科領域の疾患を総合的に診断・治療するとともに、若手医師の育成および先端的な教育及び研究を行い、広く社会に貢献することを目的として設立されました。

特徴

女性骨盤には前方に膀胱・尿道（尿路）、中央に子宮・膣（生殖器）、後方に直腸・肛門（消化管）という3つの区画があります。これに対して前方は泌尿器科、中央は婦人科、後方は直腸肛門外科といった科が、それぞれの専門として存在します。ところが女性骨盤底障害は通常これら3区画が複合的に障害を受けるため、単独の科のみの対応では不十分となることがしばしばあります。当センターは、泌尿器科、婦人科、直腸肛門外科の垣根を取り払い、それぞれの科の医師が一つのセンターに集い、女性骨盤底を統合的に捉えて診断・治療を行えるよう組織しました。全国的に見てもこのように複数の科が共同で治療に当たっている施設は非常に稀であり、当センターの大きな特徴の一つと言えます。

主な手術は骨盤臓器脱修復術（従来法、経膣メッシュ手術、腹腔鏡下仙骨固定術などすべてに対応）、尿失禁防止術、膀胱水圧拡張術、尿路腔瘻、尿道憩室、膣壁嚢胞などとなります。

体制

泌尿器科医師 2名、産婦人科医師 2名、専門看護師・理学療法士（骨盤底筋体操指導）

問い合わせ 予約・相談

外来予定表に記載されたメール・電話・FAXにより、お問い合わせください。

女性骨盤底センター・センター長を拝命しました嘉村康邦（よしむら やすくに）と申します。尿失禁をはじめとする女性排尿障害や骨盤臓器脱など、いわゆる“女性のおしもの不具合”を丁寧に診療いたします。

どうぞよろしくお願ひ致します。



嘉村康邦 センター長

地域医療連携室からご報告

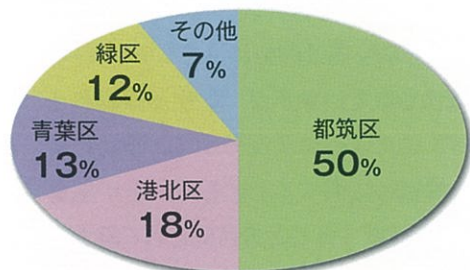
医療機関訪問

平成30年度、当院では副院長、総合サポートセンター長を中心に、近隣の医療機関を訪問し、意見交換を行いました。その際に、いただいたご意見ご要望について病院の対応をご報告します。

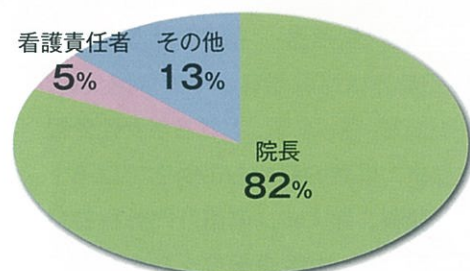
訪問回数

157回 (2018/4月～2019/2月)

訪問地域



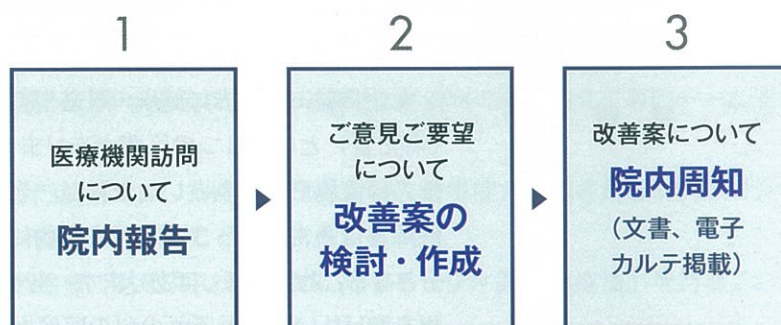
訪問相手



主なご意見

- 肯定的なご意見 (多数)
 - ・良く診ていただいている
 - ・特に問題はない
 - ・感謝している
- 改善を要するご意見
 - ・緊急時に円滑に患者さんを受け入れてほしい
 - ・返書が来ない、遅い
 - ・逆紹介を進めてほしい
 - ・院内対診ができていない

病院の対応



北部病院からのお知らせ

1 第14回地域医療連携フォーラム (平成31年2月28日、新横浜国際ホテル)

「甲状腺センター」開設 記念講演会、開設祝賀会が開催され、病院内外から240名を超える大勢のご参加をいただき盛大に行われました。



2 専門外来の終了

平成31年3月末で、**麻酔科のペインクリニック外来**は終了しました。

3 専門外来の新設

平成31年4月から、**メンタルケアセンターにて「発達障害外来」(対象：中学生以上)**という名称で、毎週木曜日に初診として発達障害の診断、相談に対応します。

4 病診連携研修会等の予定 (平成31年4月～)

開催日	研修会等名称	主催部署・講師
5月26日(日)	緩和ケア研修会 (PEACE project)	研修会企画責任者： 緩和医療科 横山和彦
6月	第15回 地域医療連携フォーラム	地域医療連携室
7月	緩和医療に関わる病診連携研究会 (横浜市北部緩和ケアチーム研究会)	担当者：横浜新緑総合病院薬剤部 藤本康嗣、緩和医療科 横山和彦